

ケ *Stropharia aeruginosa* (Fr.) Quél. とほとんど異ならない。大津市石山千町のアカマツ林および福井県遠敷郡名田庄村、三国峠付近の落葉樹林内で採集した。

111) アシボソクリタケ (新称)。クリタケ *Naematoloma sublateritium* (Fr.) Karst. に比しやせ形で茎は細長く、あまり多数が束生することはない。京都大学芦生演習林、ドイツトウヒの植林内、くさった切株付近で採った。

112) アカヒダワカフサダケ (新種)。ひだおよび胞子紋がトビ色～エビ茶色をおびる点で *Hebeloma sarcophyllum* Peck に近い種類であるが、フランスの菌学者 M. Josserand 博士よりの私信によれば、*H. sarcophyllum* はより大形、肉質の菌で、システムの形も本菌とは異なるという。大津市三井寺山内のシイ林および市内田上石居町のアカマツ林で採集。

113) オオササタケ (新種)。ササタケ *Cortinarius cinnamomeus* (Fr.) Fr. に近似の種類であるが、大形で、ひだの実質は KOH 液により青変する性質がある。大津市石山平津町のアカマツ林で採集。

114) トガリニセフウセンタケ (新種)。小形、黄土色の種類で、かさははじめ円錐形をなし先端がとがる。大津市田上黒津町のシイ林内で採る。

115) クサイロハツ (新称)。かさは草色、ひだはクリーム色の種類で、シラカンバ属の樹下に発生し、食用にすることができる。京都大学芦生演習林の落葉樹林内、ミズメの樹下で採集。

○アカヤシオの白花品 (浅井康宏) Yasuhiro ASAI: On white flowered form of *Rhododendron pentaphyllum* Maximowicz var. *nikoense* Komatsu.

アカヤシオは周知の如く、主に本州中部、関東の山地を中心に分布しており、陽春淡紅色の美花をつける。本年 (1965) 5 月、永年に亘り東三河のフロラ調査に従事されている鳥居喜一氏の御令息栄一氏 (現在東京歯科大学勤務) が、三河鳳来寺の向陽崖地 (岩壁) で本種の白花品を見出した。これにユキヤシオの名を与え、次のように記載しておきたい。

Rhododendron pentaphyllum Maximowicz var. *nikoense* Komatsu

form. **abliflorum** Asai et E. Torii, f. nova

Corolla albi. Cetera ut in typico.

Nom. Jap. Yuki-yashio (nov.).

Hab. On forest of Mt. Horaizi-san, Prov. Mikawa, central Honshu (E. Torii — May 4, 1965, Type in TI.) (東京歯科大学)

○ハキダメガヤが高知でとれた (久内清孝) Kiyotaka HISAUCHI: *Dinebra arabica* (Gramineae) found at Kochi-city in island Shikoku